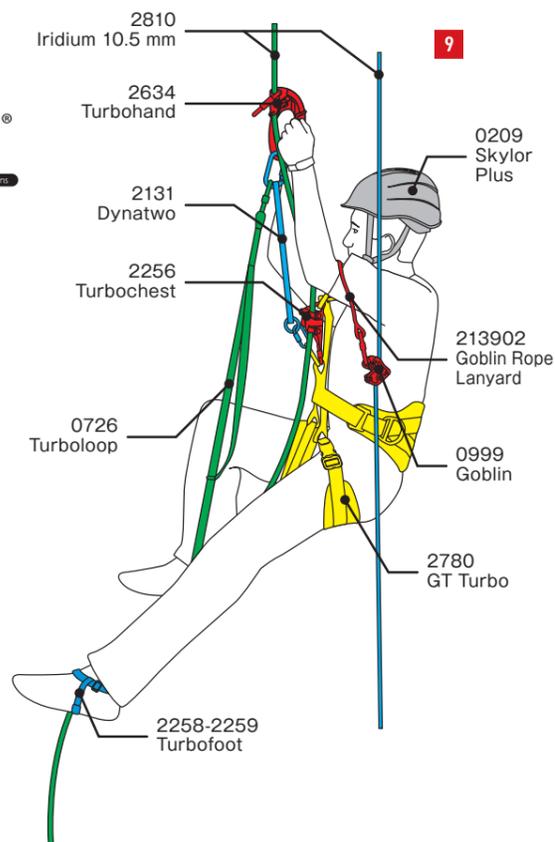
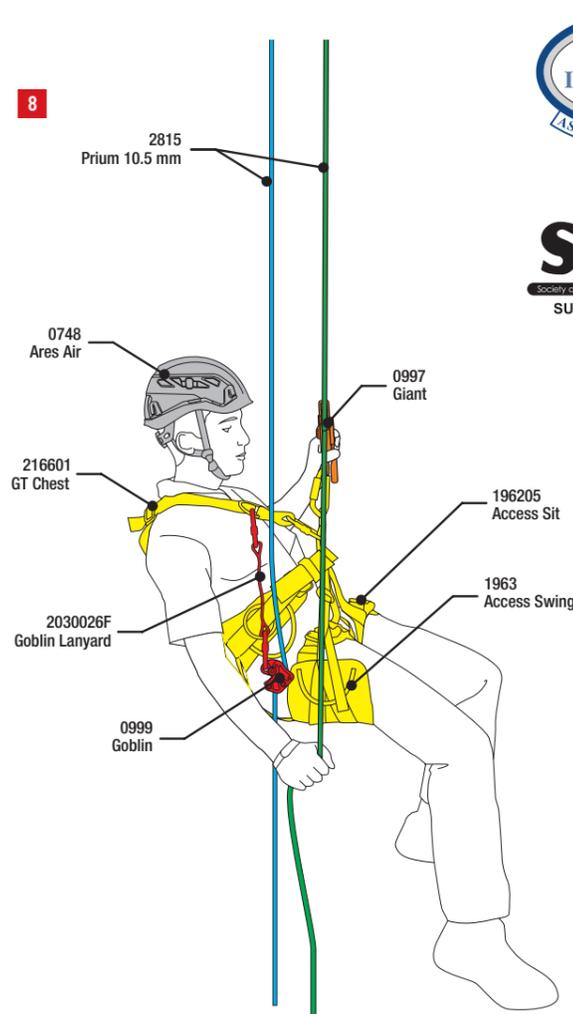
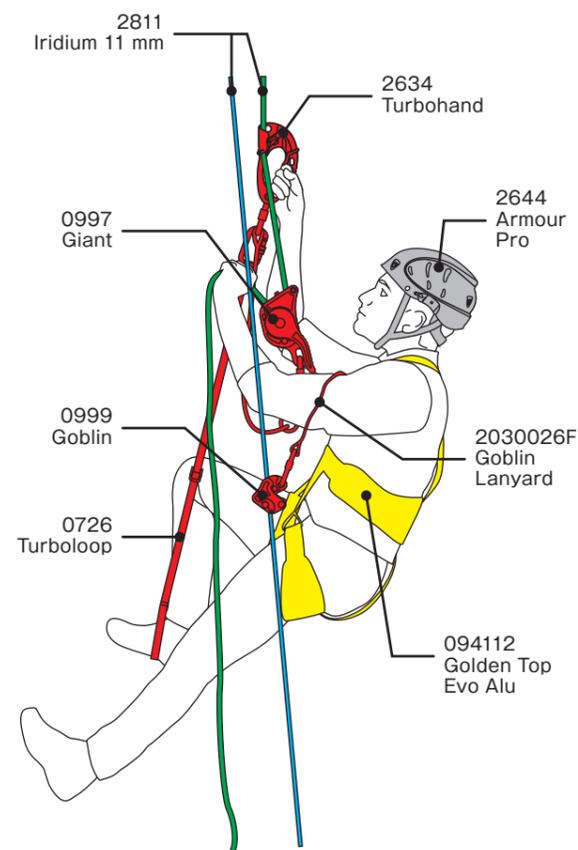


## ロープアクセス

ロープアクセス・テクニックにより高所でより安全に素早く作業をすることができます。移動時はアッセンダーとディッセンダーを使用して、ロープの損傷や人的過失により起こる落下を防止します。また、宙吊りの体勢で作業するため、EN813またはEN361認証の快適なロープアクセスハーネスが必要です。特に長時間空中で行われる作業の場合、高剛性のシート（アクセススイング）の使用をお勧めします。



10



上からのアクセスは作業場所に到達するための最も単純な方法です。言い換えると大変なエネルギーを消費する「下から上に登る」ということは避けなければいけません。このケースでは「上から下がる」ためのディッセンダーの使用だけで充分かもしれません。この場合、ライフラインのフォールアレストデバイスを常に併用しなければなりません。

すでに設置されたロープを使用して下からアクセスが必要な場合、またはロープのセクションを上がる必要がある場合は、エネルギー消費を抑え、素早く進むことができるフルボディーハーネスに搭載されたチェストアッセンダーとフットループに取り付けられたアッセンダーを操作して、登高することができます。この場合、ライフラインのフォールアレストデバイスを常に併用しなければなりません。

吊り下がった状態で、少しの距離を登る必要がある場合はハンドアッセンダーとフットループを併用することで、ディッセンダーを使って登高することができます。この組み合わせで簡単に素早く上から下へ、またその逆にも応用できます。この場合、ライフラインのフォールアレストデバイスを常に併用しなければなりません。



## 最大総重量が100kgを超えるユーザーによるCAMPセーフティ製品の使用方法について

### 序文

高所でのワークポジショニング用および墜落に対する個人用保護具の認証は、欧州指令(UE)2016/425に基づいたEN基準に則って行われています。この規格では、標準質量100kgで実施される落下テストを通じて衝撃荷重および/または性能を評価します。場合によっては、メーカーがさらに重い質量で落下テストを実施して、器材がより重いユーザーの使用に適しており安全であるかどうかを判断します。C.A.M.P.社研究開発部門は、総重量が100kgを超えるユーザーがC.A.M.P.製品を安全に使用できるかどうか、またその場合どのように使用できるかを判断するために、一連のテストを実施しました。

### 静荷重強度

C.A.M.P.社はEN規格に適合した、C.A.M.P.社 P.P.E.(個人用保護具)製品のすべてにおいて静荷重強度最大150kgの使用者の完全な安全性を保証します。実際、製品のすべての破壊荷重は、15kN(約1500 kg)を超え、場合によっては最大50kN(約5000kg)を超えるため、最小破壊荷重は常にユーザーの体重の少なくとも10倍の安全マージンがあります。

### 動的性能と衝撃荷重に対する強度

ユーザーの安全を保証するために、EN規格では、墜落制止システムにおいて、ユーザーの身体に伝わる墜落制止力を6kN(約600kg)未満に抑えることを義務付けています。この衝撃荷重の制限は、現在のEN規格では、ユーザーに重大な傷害を負わせない制限として定義されています。最大150kgの質量による追加の墜落試験に関して、C.A.M.P.社研究開発部門は、この6kNの要件を、エネルギー吸収機能を持つすべてのデバイス(エネルギー吸収装置、格納式墜落制止装置、ロープ式墜落制止装置、ケーブル式墜落制止装置など)に規定されている動的性能試験中に遵守すべき最大制限値と見なしています。試験結果により、最大150kgの体重の人の墜落時に発生する増加エネルギーの吸収を保証するための追加の安全指示もすべて特定されています。ワークポジショニングまたはレスキュー用に特別に設計されたシステム(墜落制止用に設計されていない機器)のコンポーネントに関しては、C.A.M.P.社研究開発部門は、この6kNの要件を、エネルギー吸収機能を持つすべてのデバイス(エネルギー吸収装置、格納式墜落制止装置、ロープ式墜落制止装置、ケーブル式墜落制止装置など)に規定されている動的性能テスト中に遵守すべき最大制限値と見なしています。研究開発部門は、デバイスがEN規格で規定されている動的強度要件を満たしていることを確認するために必要なすべての落下テスト(最大質量150kg)を実施しました。ワークポジショニングおよびレスキューデバイスのEN規格では、落下時の特定の衝撃荷重の制限は規定されておらず、ポジショニングデバイスまたはレスキューデバイスを使用する際に落下を避けるようにユーザーに指示しています。

### 製品の使用方法

C.A.M.P.社研究開発部門が実施した動的性能および衝撃荷重に対する強度試験により、体重150kgまでのユーザー向けのC.A.M.P.器材を使用するシステムの安全指示と制限を示すために必要なすべてのデータを提供します。次のページのチャートには、C.A.M.P.製品の各モデルに関する追加の指示が記載されています。

1. 最初の列には、ユーザーの最大体重に対する規定のEN規格の簡単な概要が記載されています。
2. 2番目の列には、総重量が100~120kgの人が使用できるかどうかを判断するための、各モデルの器材の試験結果が示されています。また、墜落時にユーザーが地面にぶつからないようにするために必要な最小クリアランス距離など、器材を正しく安全に使用するための追加の指示と制限も記載されています。
3. 3番目の列には、総重量が120~150kgのユーザー向けの2番目の列と同じ指示が記載されています。
4. 4列目には、追加の指示と試験結果が有効なすべての製品がリストアップされています。

チャートで示される指示は、以下に定義される色分けを使用して要約できます:

-  追加の安全指示なしで使用が許可されています
-  追加の安全指示がある場合のみ使用が許可されています
-  使用は許可されていません

### 結論

C.A.M.P.は、最大総重量が100kgを超える(完全装備で最大150kg)ユーザーの落下防止、ワークポジショニング、レスキューシステムにおける特定の C.A.M.P. 製品の使用を、次の場合のみ許可します。

- 適切な器材の選択は、本書に付属するチャートを参照して、指定された重量範囲の訓練を受けた専門家によって行ってください。
- 器材の使用は、各製品に付属する技術マニュアルで提供される通常の指示に加えて、指定された重量範囲について本書に付属するチャートで提供されるすべての追加の安全指示と制限に従って行ってください。
- 落下防止システム、ワークポジショニングシステム、またはレスキューシステムは、EN 規格および各製品に付属する技術マニュアルで指定されているように、一緒に使用されるコンポーネントの標準的な互換性に加えて、指定された重量範囲で使用が許可されているC.A.M.P.器材のみを使用して構成してください。

  
アントニオ・コデガ  
研究開発部門責任者

製品の種類	指示	1.EN規格による指示	2.総重量100-120kgの場合	3.総重量120-150kgの場合	4.対象製品
ref.50000 RETEXOショック アプソーバーを 使用したランヤード: EN355		EN355規格では、 ユーザーの体重制限は 規定されていません。	  使用は許可されています。 重量制限130kgで認証を 行いました。	  130 kgを超える場合、ランヤードの長さ (コネクターを含む)が175cmより短い場合 にのみ使用が許可されます。 CAMP社研究開発部門による追加テストでは、 この重量とこの長さの場合、墜落時の最大衝撃 荷重は6kN未満であり、ショックアプソーバー の伸びは160cm未満であることを示しました。 最小クリアランス距離は、アンカーポイントから 5.85m以上が必要です。	5000 Retexo (国内品番5500000) 72502xx Retexo Gyro Rewind (国内品番52502xx) 70501xx Retexo Rewind Single (国内品番57501xx) 70502xx Retexo Rewind Double (国内品番57502xx) 52502xx Retexo Gyro Rope 50501xx Retexo Rope Single (国内品番50501xx) 50502xx Retexo Rope Double (国内品番50502xx)

詳細はこちらから → [https://www.caravan-web.com/wp-content/uploads/2024/10/camp\\_warning\\_100kg.pdf](https://www.caravan-web.com/wp-content/uploads/2024/10/camp_warning_100kg.pdf)